

聖籠町・聖籠町国民健康保険保健事業実施計画（データヘルス計画）に基づく保健事業 令和3年度評価について

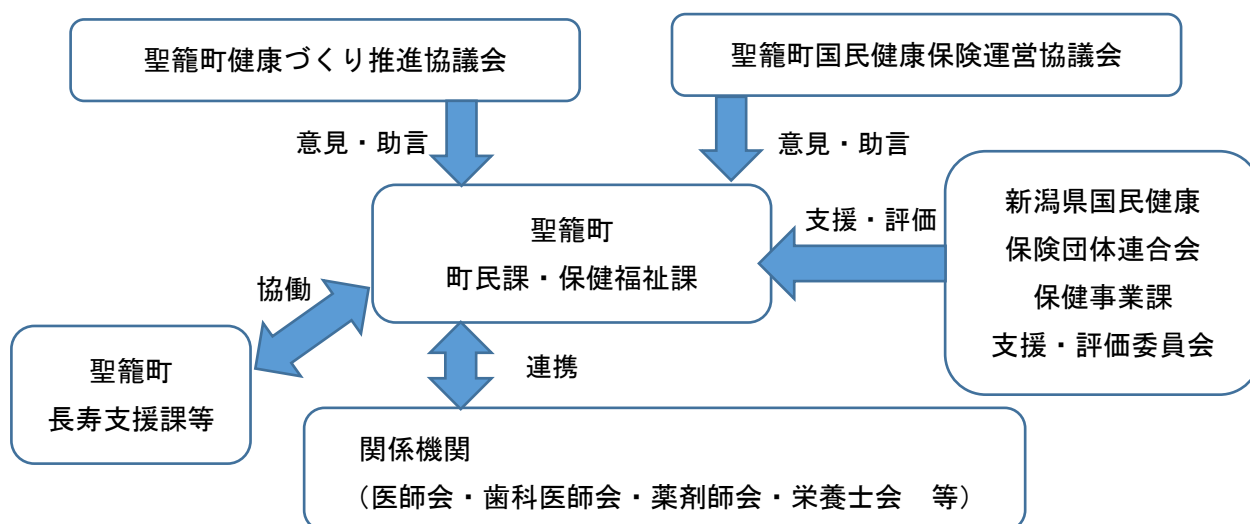
1 データヘルス計画とは

医療費や健診情報・要介護情報等のデータ分析及び保健活動で得られる情報に基づいて、PDCA サイクルで効果的・効率的な保健事業を実践するための計画

2 計画期間

平成29年度～令和5年度までの8年計画

3 実施体制



(聖籠町・聖籠町国民健康保険 保健事業実施計画（データヘルス計画）中間見直し版 図5)

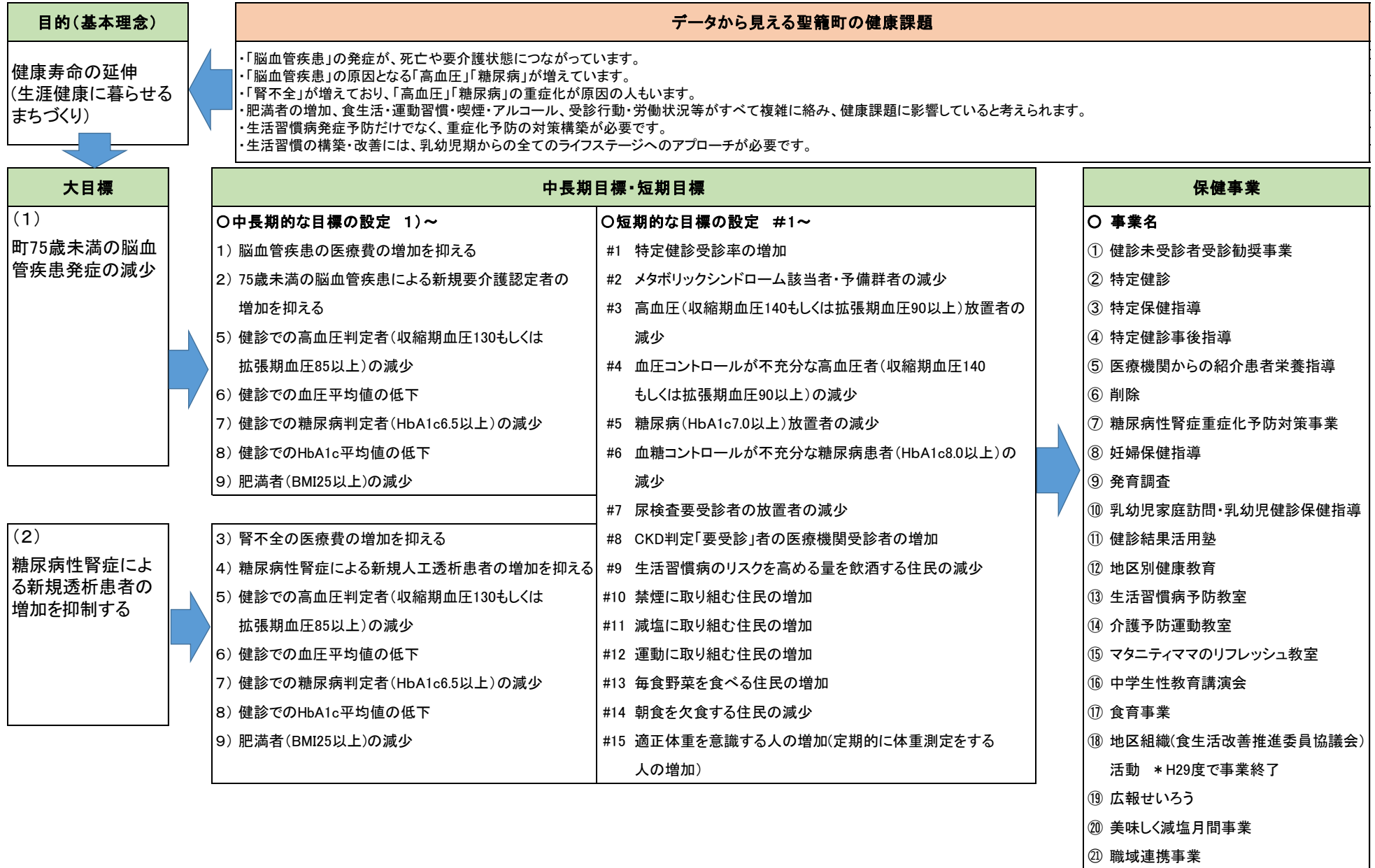
4 令和3年度個別の保健事業の評価

新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度は各健診事業の実施時期や、方法の大幅な変更、町民の受診控え行動がありました。

これを踏まえて、令和3年度は「特定健診等各種健診の必要性」を「不要不急ではなく、定期的に必要なもの」と広報等で訴えけるとともに、事業番号①健診未受診者受診勧奨事業の対象者を増やしたことで、事業番号②特定健診の受診率が55.3%となりました。健診結果を踏まえて行う事業番号③特定保健指導や、事業番号④特定健診事後指導についても、概ね目標を達成する割合で実施できています。

しかしながら、受診控えや外出自粛等による運動習慣の低下はみられることから、引き続き、with コロナの意識を持ち、生活習慣病発症予防・重症化予防の事業展開を図ってまいります。

【データヘルス計画（中間見直し後）の全体像】



聖籠町・聖籠町国民健康保険 保健事業実施計画(データヘルス計画) 保健事業 令和3年度評価

A:目標を達成 B:維持 C:目標を未達成 D:目標の達成は困難で、効果があるとはいえない

事業番号	保健事業(名)	目的・事業内容	評価項目		年次推移/経年変化 実績値・達成状況					R3年度指標評価 評価 (A~Dの4段階)	R3年度事業評価 評価 (A~Dの4段階)	R3年度 要因分析 成功要因・未達要因	今後の方針 見直しと改善の案	
			評価指標	目標値	H29年度 (ベースライン値)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度					
1	健診未受診者受診勧奨事業	【目的】 特定健診の受診率向上と重症化予防 【事業内容】 ①秋の総合健診前に個別通知 ②個別訪問	アウトプット指標	春の総合健診受診予定者で特定健診未受診者のうち、受診勧奨通知書を送付した割合	対象者への実施率の増加	30.5%(204人/668人)	27.5%(240人/874人)	36.2%(160人/442人)	春の総合健診を延期したため、事業未実施	100.0%(650人/650人)	A	A	県の事業を活用することで、対象者全員に勧奨ハガキを送ることができた。	県の事業を継続して活用し、未受診者の分析を行うことでより効果的に事業を行う方法を検討する。
			アウトカム指標	受診勧奨通知送付者のうち、特定健診を受診した割合	実施者の受診率の増加	8.8%(18人/204人)	4.2%(10人/240人)	13.1%(21人/160人)	春の総合健診を延期したため、事業未実施	6.6%(43人/650人)	B			
2	特定健診	【目的】 生活習慣病の早期発見と重症化予防 【事業内容】 ①春・秋の総合健診 ②人間ドック	アウトプット指標	特定健康診査受診率	受診率の前年度比増加	49.9%(956人/1915人)	53.0%(985人/1859人)	53.0%(966人/1823人)	48.0%(877人/1826人)	55.3%(948人/1713人)	A	A	健診の実施方法、広報、勧奨事業、対象者の精査を行うことで、受診率が増加した。	継続して健診受診の大切さを啓発していく。
			アウトカム指標	特定健康診査受診率	受診率の前年度比増加	49.9%(956人/1915人)	53.0%(985人/1859人)	53.0%(966人/1823人)	48.0%(877人/1826人)	55.3%(948人/1713人)	A			
3	特定保健指導	【目的】 生活習慣病予防と重症化予防 【事業内容】 町保健師による個別保健指導	アウトプット指標	対象者のうち、個別保健指導を行った割合	対象者への実施率の増加	39.1%(54人/138人)	38.1%(48人/126人)	40.3%(50人/124人)	36.6%(45人/123人)	39.4%(50人/127人)	A	A	特定健診事後指導と並行で実施したため、対象者へ効果よく指導することができた。	継続
			アウトカム指標	特定保健指導実施者の翌年度健診結果(実施者の改善/維持した割合) ①HbA1c ②成人の血圧値分類 ③BMI	実施者の翌年度の健診結果の改善	①HbA1c 77.5% ②成人の血圧値分類 52.5% ③BMI 65.0%	①HbA1c 46.5% ②成人の血圧値分類 48.8% ③BMI 32.6%	①HbA1c 61.1% ②成人の血圧値分類 69.4% ③BMI 47.2%	①HbA1c 70.6% ②成人の血圧値分類 64.7% ③BMI 58.8%	①HbA1c 72.3% ②成人の血圧値分類 85.1% ③BMI 57.4%	B			
4 1	特定健診事後指導 (未治療高血圧者)	【目的】 未治療高血圧者の減少 【事業内容】 総合健診の会場や結果説明会等での、町保健師による個別保健指導時の受診勧奨	アウトプット指標	対象者のうち、個別保健指導で受診勧奨を行った割合	対象者への実施率の増加	41.2%(56人/136人)	23.9%(34人/142人)	40.5%(45人/122人)	42.9%(60人/140人)	39.5%(70人/177人)	B	B	血圧は変動があり、自宅で正常域の場合は、積極的な受診勧奨よりも継続的な自己測定を勧められているため。	日頃の自己測定から受診勧奨の必要性の有無を判断して、対象者抽出を行う。
			アウトカム指標	実施者のうち、翌年度のレセプトで傷病名に「高血圧」があった被保険者の割合	実施者で医療機関を受診した割合の増加	25.0% (13人/52人 *4人評価不能)	29.4%(10人/34人)	38.5% (10人/26人 *19人評価不能)	8.9% (5人/56人 *4人評価不能)	3.4% (2人/58人 *12人評価不能)	C			
4 2	特定健診事後指導 (高血圧受療者でコントロール不良者)	【目的】 [高血圧]で医療機関を受診しているが、コントロールが不十分な被保険者の減少 【事業内容】 総合健診の会場や結果説明会等での、町保健師による個別保健指導	アウトプット指標	対象者のうち、個別保健指導を行った割合	対象者への実施率の増加	33.7%(35人/104人)	33.0%(31人/94人)	45.9%(39人/85人)	32.8%(42人/128人)	38.1%(67人/176人)	A	A	個々の生活状況に合わせた受診勧奨、食生活等の保健指導ができています。	継続
			アウトカム指標	実施者のうち、翌年度の健診結果で成人の血圧値の分類の段階が下がった者の割合	実施者の翌年度健診結果の改善	48.6%(17人/35人)	60.0% (12人/20人 *11人評価不能)	22.2% (6人/27人 *12人評価不能)	91.7% (33人/36人 *6人評価不能)	88.5% (23人/26人 *41人評価不能)	A			
4 3	特定健診事後指導 (糖代謝異常者)	【目的】 糖尿病放置者の減少 【事業内容】 結果説明会や個別訪問等での、町保健師による個別保健指導時の受診勧奨	アウトプット指標	対象者のうち、個別保健指導で受診勧奨を行った割合	対象者への実施率の増加	31.9%(15人/47人)	38.3%(18人/47人)	58.7%(27人/46人)	50.0%(6人/12人)	40.9%(9人/22人)	A	B	個々の生活状況に合わせた受診勧奨、食生活等の保健指導ができています。	継続して受診の大切さを啓発指導ができています。
			アウトカム指標	実施者のうち、翌年度のレセプトで傷病名に「糖尿病」があった被保険者の割合	実施者で医療機関を受診した割合の増加	64.3% (9人/14人 *1人評価不能)	70.6% (12人/17人 *1人評価不能)	63.0% (17人/25人 *2人評価不能)	16.7%(1人/6人)	0.0%(0人/5人 *4人評価不能)	C			
4 4	特定健診事後指導 (血糖コントロール不良者)	【目的】 [糖尿病]で医療機関を受診しているが、コントロールが不十分な被保険者の減少 【事業内容】 結果説明会や個別訪問等での、町保健師による個別保健指導時の受診勧奨	アウトプット指標	対象者のうち、個別保健指導を行った割合	対象者への実施率の増加	34.1%(15人/44人)	65.9%(27人/41人)	67.5%(27人/40人)	100.0%(4人/4人)	60.0%(6人/10人)	A	A	個々の生活状況に合わせた受診勧奨、食生活等の保健指導ができています。	継続
			アウトカム指標	実施者のうち、翌年度の健診結果でHbA1cの値が下がった者の割合	実施者の翌年度健診結果の改善	57.1% (8人/14人 *1人評価不能)	30.0% (6人/20人 *7人評価不能)	38.9% (7人/18人 *9人評価不能)	100.0% (3人/3人 *1人評価不能)	50.0%(1人/2人 *4人評価不能)	B			
4 5	特定健診事後指導 (未治療尿検査異常者)	【目的】 尿検査受診者の減少 【事業内容】 総合健診の会場や結果説明会等での、町保健師による個別保健指導時の受診勧奨	アウトプット指標	対象者のうち、個別保健指導で受診勧奨を行った割合	対象者への実施率の増加	52.0%(13人/25人)	33.3%(7人/21人)	70.0%(14人/20人)	57.1%(4人/7人)	33.3%(4人/12人)	B	B	尿潜血の場合は過去の精密検査の結果で受診勧奨の有無を判断しているため、様子見となっている方もいる。	初所見の方には特に受診勧奨を徹底
			アウトカム指標	実施者のうち、翌年度のレセプトで傷病名に「高血圧」「糖尿病」があった被保険者の割合	実施者で医療機関を受診した割合の増加	75.0% (9人/12人 *1人評価不能)	85.7%(6人/7人)	71.4%(10人/14人)	0.0%(0人/4人)	0.0%(0人/1人 *3人評価不能)	C			
4 6	特定健診事後指導 (CKD判定 要保健指導・要受診者)	【目的】 CKD判定 要保健指導・要受診者の医療機関受診 【事業内容】 町保健師による個別保健指導時の受診勧奨	アウトプット指標	対象者のうち、個別保健指導で受診勧奨を行った割合	対象者への実施率の増加	22.1%(29人/131人)	43.0%(58人/135人)	39.0%(60人/154人)	100.0%(7人/7人)	75.0%(6人/8人)	A	A	個々の生活状況に合わせた受診勧奨、食生活等の保健指導ができています。	継続
			アウトカム指標	実施者のうち、翌年度のレセプトで傷病名に「高血圧」「糖尿病」があった被保険者の割合	実施者で医療機関を受診した割合の増加	75.6%(34人/45人) *「要受診者」/「要保健指導・要受診者」	69.6%(16人/23人) *「要受診者」/「要保健指導・要受診者」	41.7%(56人/97人) *「要受診者」/「要保健指導・要受診者」	28.6%(2人/7人)	0.0%(0人/3人 *3人評価不能)	C			
4 7	特定健診事後指導 (特定健診項目以外の要保健指導・要受診者の重症化予防)	【目的】 特定健診項目以外(心電図・貧血・眼底検査)の要保健指導・要受診者の重症化予防 【事業内容】 町保健師による個別保健指導時の受診勧奨	アウトプット指標										個々の生活状況に合わせて受診勧奨、食生活等の保健指導を実施	
			アウトカム指標											
5	医療機関からの紹介患者栄養指導	【目的】 生活習慣病の重症化予防 【事業内容】 町管理栄養士による個別栄養指導	アウトプット指標	対象者へ個別栄養指導を実施した割合	対象者への実施率100%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	A	A	対象者へ100%実施。保健指導の継続と新規紹介の増もあり継続支援の対象者は増えている。	今後さらに、医療機関からの紹介が増えることを考慮すると、マンパワーの確保の検討も必要になる。
			アウトカム指標	医療機関からの紹介の有無	医療機関からの紹介の有無	有(紹介者数 9人)	有(紹介者数 47人)	有(紹介者数 77人)	有(紹介者数 72人)	有(紹介者数 63人)	B			
6	人工透析患者状況把握調査訪問	【目的】 聖籠町の傾向・課題を探り、今後の保健事業への反映 【事業内容】 町保健師による聞き取りと患者・家族に対する支援	アウトプット指標										更生医療申請等に保健師と顔つなぎができるように、福祉係と共有し、個別対応	
			アウトカム指標											
7	糖尿病性腎症重症化予防対策事業	【目的】 対象者を医療と地域で継続して支援できる体制づくり 【事業内容】 町保健師・管理栄養士による医療機関訪問と町の現状・事業紹介や事業への協力依頼	アウトプット指標	連携医療機関の延べ数	連携医療機関の増加と強化	3医療機関	5医療機関	6医療機関	7医療機関	8医療機関	A	B	コロナ禍で、医療機関へ訪問ができず、資料通知になった年もあったが、連携医療機関は少しずつ増えている。	継続して連携医療機関の増加と強化を進める。また、今後地域振興局とも連携し、医療機関連携事業体制を整えていく予定。
			アウトカム指標	連携医療機関の延べ数	連携医療機関の増加と強化	3医療機関	5医療機関	6医療機関	7医療機関	8医療機関	A			
8	妊婦保健指導	【目的】 町民が健やかな妊娠期を過ごし、乳児期からの生活習慣病予防の視点を養う 【事業内容】 妊娠届出時の健康相談・保健指導	アウトプット指標	対象者へ健康相談・保健指導を行った割合	対象者への実施率100%	未把握	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	A	A	妊娠届出時に喫煙・飲酒状況を必ず聞き、対象者には保健指導を行ってきたため。	継続して啓発していく。
			アウトカム指標	健康相談・保健指導後の喫煙・飲酒状況の聞き取り	妊婦の喫煙率・飲酒率の減少	未把握	1.5%	0.8%	3.5%	2.4%	B			
9	発育教室	【目的】 幼児期の健康管理が生活習慣病の予防につながることを町民が理解し、家族ぐるみで考えていく 【事業内容】 身体測定の実施(2か月に1回)結果に基づき管理栄養士のコメントと、保護者への保健指導	アウトプット指標	対象者へ身体測定、保健指導を行った割合	対象者への実施率100%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	A	B	対象者への発育測定の実施は100%。肥満や痩身への対応は個性が高いため、変動があるが、乳幼児から途切れなく支援できる体制を整えていく。	保育園の新体制に伴い、民間での発育調査が継続できない状況がある。今後、民間保育園とも連携方法を模索していく必要がある。町立幼稚園については軽度にしていく。
			アウトカム指標	肥満：標準体重から+15%以上の園児の割合 やせ：標準体重から-15%以下の園児の割合	肥満、やせの割合の減少	肥満 3.6% やせ 1.1%	肥満 2.6% やせ 1.3%	肥満 3.3% やせ 1.7%	肥満 5.3% やせ 1.5%	肥満 5.3% やせ 1.8%	B			

聖籠町・聖籠町国民健康保険 保健事業実施計画(データヘルス計画) 保健事業 令和3年度評価

A:目標を達成 B:維持 C:目標を未達成 D:目標の達成は困難で、効果があるとはいえない

事業番号	保健事業(名)	目的・事業内容	評価項目		年次推移/経年変化 実績値・達成状況					R3年度指標評価 評価(A~Dの4段階)	R3年度事業評価 評価(A~Dの4段階)	R3年度要因分析 成功要因・未達要因	今後の方針 見直しと改善の案	
			評価指標	目標値	H29年度 (ベースライン値)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度					
10	乳幼児家庭訪問・乳幼児健診保健指導	【目的】 幼児期の健康管理が生活習慣病の予防につながることを町民が理解し、家族ぐるみで考えていく 【事業内容】 健康づくりに関する情報提供と健康相談・保健指導	アウトプット指標	情報提供・健康相談・保健指導を行った割合(2か月訪問・乳児健診・1歳半健診・3歳児健診での実施率)	対象者への実施率の維持	2か月訪問 100.0% 乳児健診 100.0% 1歳半健診 99.3% 3歳児健診 99.3%	2か月訪問 100.0% 乳児健診 98.9% 1歳半健診 100.0% 3歳児健診 100.0%	2か月訪問 100.0% 乳児健診 100.0% 1歳半健診 92.2% 3歳児健診 100.0%	2か月訪問 99.2% 乳児健診 99.5% 1歳半健診 98.4% 3歳児健診 98.8%	2か月訪問 98.6% 乳児健診 99.3% 1歳半健診 97.3% 3歳児健診 96.4%	B	B	コロナ流行により例年より健診受診率がやや低下した。	受け控え予防の啓発を継続。親世代の健診受診のPRを強化
			アウトカム指標	①毎日飲酒割合 ②2合以上飲酒割合 ③喫煙率 ④1日30分以上の運動習慣なしと回答した割合 ⑤週3回以上朝食を抜く割合 ⑥生活習慣病改善意欲なしと回答した割合 ⑦BMI25以上の割合	特定健診受診者の質問票及び健診結果の改善(減少)	①毎日飲酒 33.0% ②2合以上飲酒 20.7% ③喫煙 19.9% ④1日30分以上の運動習慣なし 70.1% ⑤週3回以上朝食を抜く 6.6% ⑥生活習慣病改善意欲なし 47.0% ⑦BMI25以上 27.8%	①毎日飲酒 32.0% ②2合以上飲酒 15.6% ③喫煙 19.0% ④1日30分以上の運動習慣なし 67.9% ⑤週3回以上朝食を抜く 8.1% ⑥生活習慣病改善意欲なし 46.5% ⑦BMI25以上 27.8%	①毎日飲酒 33.0% ②2合以上飲酒 19.0% ③喫煙 17.8% ④1日30分以上の運動習慣なし 69.3% ⑤週3回以上朝食を抜く 7.8% ⑥生活習慣病改善意欲なし 45.6% ⑦BMI25以上 27.9%	①毎日飲酒 31.6% ②2合以上飲酒 18.4% ③喫煙 18.2% ④1日30分以上の運動習慣なし 71.3% ⑤週3回以上朝食を抜く 7.7% ⑥生活習慣病改善意欲なし 42.6% ⑦BMI25以上 29.7%	①毎日飲酒 33.2% ②2合以上飲酒 17.0% ③喫煙 18.1% ④1日30分以上の運動習慣なし 73.1% ⑤週3回以上朝食を抜く 7.5% ⑥生活習慣病改善意欲なし 43.0% ⑦BMI25以上 29.7%				
11	健診結果活用塾	【目的】 町民が、町の健康課題、働き盛り年代の健康課題を知り、生活習慣病予防に関する知識を高める 【事業内容】 3小学校区を2グループに分けて2年で一回りするものとし、1グループ内の行政区単位で開催。保健推進員と食生活改善推進員が共同で講話を行う。	アウトプット指標	年間参加者数	年間参加者数の増加	180人	199人	223人	5月総合検診が12月に延期となったため中止	132人	C	B	コロナ流行により集団への参加を控える傾向があり、参加者が減少。	感染予防対策を徹底し、参加を促す。
			アウトカム指標	10 乳幼児家庭訪問・乳幼児健診保健指導のアウトカムと同じ	特定健診受診者の質問票及び健診結果の改善(減少)	10 乳幼児家庭訪問・乳幼児健診保健指導のアウトカムと同じ	10 乳幼児家庭訪問・乳幼児健診保健指導のアウトカムと同じ	10 乳幼児家庭訪問・乳幼児健診保健指導のアウトカムと同じ	10 乳幼児家庭訪問・乳幼児健診保健指導のアウトカムと同じ	10 乳幼児家庭訪問・乳幼児健診保健指導のアウトカムと同じ				
12	地区別健康教育	【目的】 町民が、町の健康課題を知り、生活習慣病予防に関する知識を高める 【事業内容】 個別血圧相談と生活習慣病予防に関する知識の提供等の健康相談・健康教育	アウトプット指標	各地区からの要望に応じて、健康相談・健康教育を実施した割合	各地区からの要望に応じた健康相談・健康教育の実施率 100%	100.0%(実施回数 23回)	100.0%(実施回数 14回)	100.0%(実施回数 16回)	100.0%(実施回数 9回)	100.0%(実施回数 8回)	A	B	コロナ禍であること、健診結果活用塾を再開したことにより、そちらを優先したことなどで、地区からの要望も少なかった。	感染予防を徹底しながら、地区の状況を踏まえ実施していく。
			アウトカム指標	10 乳幼児家庭訪問・乳幼児健診保健指導のアウトカムと同じ	特定健診受診者の質問票及び健診結果の改善(減少)	10 乳幼児家庭訪問・乳幼児健診保健指導のアウトカムと同じ	10 乳幼児家庭訪問・乳幼児健診保健指導のアウトカムと同じ	10 乳幼児家庭訪問・乳幼児健診保健指導のアウトカムと同じ	10 乳幼児家庭訪問・乳幼児健診保健指導のアウトカムと同じ	10 乳幼児家庭訪問・乳幼児健診保健指導のアウトカムと同じ				
13	生活習慣病予防教室	【目的】 糖尿病・高血圧の重症化とCKD・脳卒中などの合併症の予防 【事業内容】 糖尿病予防教室と教室終了後のフォローアップを行う	アウトプット指標	教室への参加者の実人数	年間参加者数の維持	19人	19人	15人	12人	実施方法の見直しのため未実施		C	講師による講演会を教室の1回目とすることで、生活習慣病予防の必要性を広く啓発するとともに、対象者の動機付けを行うことで、新規・継続参加者の獲得を狙う	
			アウトカム指標	教室の参加者のうち、翌年度の血圧・HbA1c・BMI等が改善した割合	参加者の翌年度健診結果改善率	52.9%	73.7%	63.6%	33.3%	実施方法の見直しのため未実施				
14	介護予防運動教室	【目的】 下肢筋力・体幹機能の維持・向上 【事業内容】 通所型・出向型で運動指導・栄養指導を行う	アウトプット指標	教室への参加者の延人数	年間参加者数の維持	通所:461人 出向:1893人	通所:402人 出向:1969人	通所:333人 出向:2151人 フォロー:1364人	通所:147人 出向:1066人	通所:127人 出向:1,315人	C	C	コロナの影響で運動習慣が減少	コロナの影響を見ながら運動教室の続行と普及啓発を実施する
			アウトカム指標	1日30分以上の運動習慣なしと回答した割合	特定健診受診者の質問票及び健診結果の改善(減少)	70.1%	67.9%	69.3%	71.3%	73.1%				
15	マタニティママのリフレッシュ教室	【目的】 健やかな妊娠期を過ごし、乳児から生活習慣病予防の視点をもたせる 【事業内容】 栄養講座、調理実習の実施と健康に関する知識の提供	アウトプット指標	聖籠町に妊娠届出を行った妊婦のうち、教室に参加した者の割合	年間参加者率の増加(教室参加数/妊娠届出数)	5.7%(8人/141人)	20.5%(26人/127人)	21.6%(24人/111人)	17.7%(28人/158人)	17.1%(22人/129人)	B	B	産院での教室がないので特に初産婦の需要がある。教室参加率は年度によってばらつきがあるが、参加者のニーズに合わせて合わせて教室実施している。	継続していく。また、参加者のニーズに合わせて実施していく。
			アウトカム指標	10 乳幼児家庭訪問・乳幼児健診保健指導のアウトカムと同じ	特定健診受診者の質問票及び健診結果の改善(減少)	10 乳幼児家庭訪問・乳幼児健診保健指導のアウトカムと同じ	10 乳幼児家庭訪問・乳幼児健診保健指導のアウトカムと同じ	10 乳幼児家庭訪問・乳幼児健診保健指導のアウトカムと同じ	10 乳幼児家庭訪問・乳幼児健診保健指導のアウトカムと同じ	10 乳幼児家庭訪問・乳幼児健診保健指導のアウトカムと同じ				
16	中学生性教育講演会	【目的】 未成年のうちから健康づくりに対する関心を高め、喫煙防止を促す 【事業内容】 年1回の性教育講演会の際に、喫煙に関する情報(健康や身体発達、学力への影響)を提供し、喫煙は絶対にしないよう強く指導する	アウトプット指標	教室への参加者の延人数	実施(参加者数)	実施(150人)	実施(118人)	実施(147人)	性教育の講話のみ	性教育の講話のみ	C	C	50分の講話に喫煙予防も含まれるとボリュームが大きくなり、伝えたいポイントもふれやすくなってしまった。	今後も講話は性感染症と望まない妊娠予防に絞られ、喫煙予防の普及啓発は他の方法を検討していきたい。
			アウトカム指標	喫煙率	特定健診受診者の質問票及び健診結果の改善(減少)	19.9%	19.0%	17.8%	18.2%	18.1%				
17	食育事業	【目的】 町民が、乳幼児の健康管理が生活習慣病予防につながることを理解し、家族ぐるみで考えていく 【事業内容】 こども園で食育劇を実施し、バランス食の大事さを伝える	アウトプット指標	食育劇の実施の可否	実施	実施	実施	実施	実施	食育授業に変更して実施	A	B	感染対策のため、集会の実施ができないため、クラス単位での実施に変え、全園の年長児に実施した。これまでの事業継続で理解度は高く事業評価できたが、今後の実施方法についてが課題となる。	事業実施は継続してきたが保育園の新体制に伴い、事業実施の継続が難しくなった。食育授業や他の実施方法を検討していく必要がある。
			アウトカム指標	肥満:標準体重から+15%以上の園児の割合やせ:標準体重から-15%以下の園児の割合の減少	園児の肥満、やせの割合の減少	9 発育教室のアウトカムと同じ	9 発育教室のアウトカムと同じ	9 発育教室のアウトカムと同じ	9 発育教室のアウトカムと同じ	9 発育教室のアウトカムと同じ				
18	地区組織(食生活改善推進員協議会)活動	【目的】 町民が、乳幼児の健康管理が生活習慣病予防につながることを理解し、家族ぐるみで考えていく 【事業内容】 食生活改善推進員による減塩教室を開催し、家庭に広めてもらう	アウトプット指標	こども園での実施の可否	実施	実施						C		
			アウトカム指標	子どもの頃から食塩の取りすぎに注意する必要がある、と回答した割合	教室実施後のアンケートの改善	80.6%								
19	広報せいらう	【目的】 健康・医療に関する知識や保健事業の情報の提供 【事業内容】 広報せいらうとお知らせ号に記事を掲載する	アウトプット指標	継続した広報せいらうへの記事の掲載	広報せいらうとお知らせ号への記事の掲載回数	実施(19回/22回)	実施(19回/22回)	実施(19回/22回)	実施(19回/22回)	実施(17回/22回)	B	B	必要な情報を随時提供している。	LINEやSNS等による情報提供を開始した。引き続き、必要な情報が町民に届くよう、発信方法、内容を工夫していく。
			アウトカム指標	10 乳幼児家庭訪問・乳幼児健診保健指導のアウトカムと同じ	特定健診受診者の質問票及び健診結果の改善(減少)	10 乳幼児家庭訪問・乳幼児健診保健指導のアウトカムと同じ	10 乳幼児家庭訪問・乳幼児健診保健指導のアウトカムと同じ	10 乳幼児家庭訪問・乳幼児健診保健指導のアウトカムと同じ	10 乳幼児家庭訪問・乳幼児健診保健指導のアウトカムと同じ	10 乳幼児家庭訪問・乳幼児健診保健指導のアウトカムと同じ				
20	美味しく減塩月間事業	【目的】 町民が町の健康課題を知り、生活習慣病予防の重要性を身近に感じ、家族ぐるみで取り組んでいける 【事業内容】 スーパー、町内観光施設等に減塩特設コーナーを設置するとともに、学校給食や飲食店と連携し、減塩を勧める	アウトプット指標	設置箇所	減塩特設コーナーの設置	地場物産館	地場物産館	地場物産館 町立図書館	地場物産館 町立図書館	地場物産館 町立図書館	B	B	健康づくり支援店の登録事業やボイ活事業につなげて飲食店舗に拘らず、さらに企業や事務所、販売店への普及を進める。町内の飲食店は減少傾向にあり、減塩メニューの販売を実施する店舗の大きな増加は期待できないが、微増で継続できている。	健康づくり支援店の登録事業やボイ活事業につなげて飲食店舗に拘らず、さらに企業や事務所、販売店への普及を進める。町内の飲食店は減少傾向にあるため、減塩メニューの販売を増加させる店舗の微増、継続を進めたい。
			アウトカム指標	事業の実施	減塩メニューの販売を継続実施	ざぶ〜ん館	ざぶ〜ん館	ざぶ〜ん館	ざぶ〜ん館	ざぶ〜ん館 ほうせい丸				
21	職域連携事業	【目的】 働き盛り年代に対し、町の健康課題を共有し、問題提起を行う 【事業内容】 商工会総会・理事会や東港立地企業協議会総会等で健康講話や生活習慣病予防の情報提供を実施する	アウトプット指標	①健康講話等の実施回数 ②情報提供の有無	①健康講話等の実施 ②生活習慣病予防の情報提供	2回	3回	1回	2回(書面)	4回	A	A	他事業と日程が重なり、東港立地企業連絡協議会で講話は書面に実施した	今後も継続して事業を実施していく
			アウトカム指標	①健康講話等の実施回数 ②情報提供の有無	①健康講話等の実施 ②生活習慣病予防の情報提供	有	有	有	有					